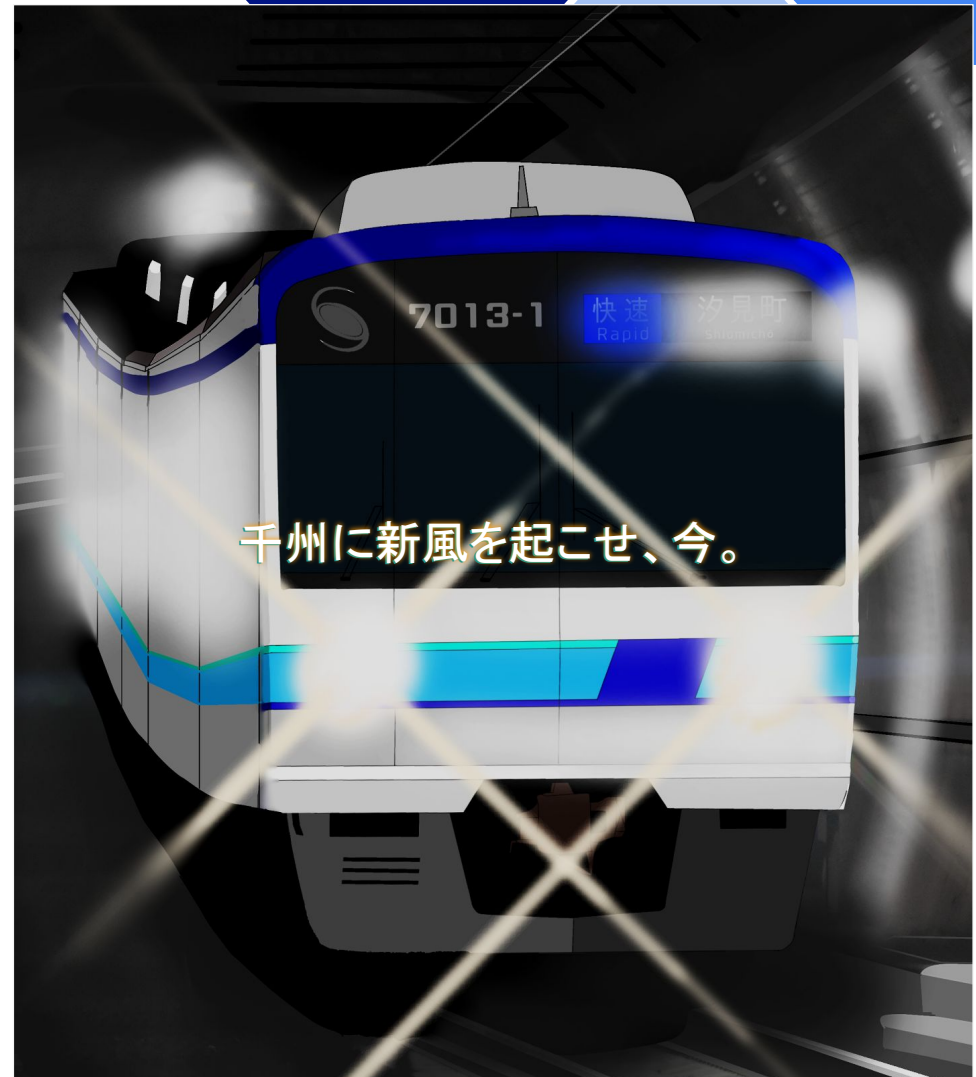


The CHIYOTETSU Way

2025
Vol.11



The CHIYOTETSU Way 2025 Vol.11



千代鉄ホールディングス株式会社
静岡県千代丘市港区港本町1丁目1-1 千代鉄本社ビル

CONTENTS

巻頭のあいさつ	003
OUR VISION Beyond2030 #1 2030年までに目指す姿と千代鉄の挑戦	004
OUR VISION -Beyond2030 #2 人材価値創造と健康経営	006
CHIYOTETSU Topics	007



Top Message

変革と挑戦を恐れず、 大企業なれど“小回り”の利く事業展開へ。

千代鉄ホールディングス株式会社

代表取締役社長 今川邦彦

平素より、当グループへの格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
また、2023年より始動した長期経営計画「Beyond2030」の目標達成に向け、日々の業務に尽力されている全事業所の従業員の皆さんには、心より感謝申し上げます。

1917年に設立された当グループの前身「千代丘電気軌道」から紡がれた歴史は、来たる 2025年5月12日
で109年を迎えます。この長い歴史の中で、私たちは先人たちの知恵や技術を受け継ぎながら、常に変化
に対応し、新たな道を切り拓いてきました。効率化への対応、経営不振からの事業多角化、平成不況下で
のホールディングス化など、数々の変革を経て、今日の千代鉄グループは築き上げられたのです。そして、
このたゆまぬ努力と挑戦の積み重ねが、当社を千州を代表する大企業へと発展させました。

しかし、大企業という言葉の裏には、往々にして「巨大化した組織」という側面が隠れています。組織が巨大
化すると、意思決定の速度が遅れたり、新たな挑戦への一歩が重くなったり、あるいは市場や顧客の声へ
の反応が鈍くなるといった課題に直面しがちです。私たちは今、この課題に真正面から向き合い、次の
100年を歩むために、もう一段の変革を推し進める時期にきています。

目指すは、大企業としてのスケールメリットは維持しつつも、まるでスタートアップ企業のように俊敏で、市場
の小さな変化にも即座に対応できる「小回りの利く」事業展開です。

次に、デジタル技術の積極的な導入により、業務効率の向上はもちろんのこと、お客様や従業員の皆様と
の接点を多様化し、誰でも声を上げて提案できる基盤を強化します。

そして何よりも重要なのは、従業員一人ひとりの挑戦と成長です。私たちは、変化を恐れず、新しいアイ
デアを積極的に提案し、実行する皆さんの主体性を尊重します。例えそれが小さな失敗に終わったとしても、
そこから学び、次に活かす。そのような挑戦を歓迎する企業文化を、より一層醸成していきます。

この変革は、決して容易な道ではありません。しかし、私たちがこの挑戦を成功させることで、千代鉄グル
ープは、より強く、よりしなやかに、そしてお客様や地域社会にとって、かけがえのない存在としてあり続ける
ことができると確信しています。

大企業でありながら「小回り」の利く事業展開へ。これは、単なる経営戦略に留まらず、私たちの存在意義
そのものを再定義する試みです。未来を共につくる従業員の皆さん、そして日頃より当グループを支えてく
ださる全てのステークホルダーの皆様とともに、この大きな変革の波を乗り越え、持続可能な社会の発展に
貢献してまいります。

今後とも、千代鉄グループの挑戦に皆様のご協力とご支援を心よりお願い申し上げます。

OUR VISION -Beyond2030

長期経営計画「Beyond2030」

2030年までに目指す姿と千代鉄の挑戦

2023年に制定された7か年に及ぶ長期経営計画「Beyond2030」。

VISIONIに記された姿を達成するために行う事業や方策などを、当書の発行までに起こしたアクションを踏まえ、改めて紹介してまいります。

千代鉄の目指す姿

千州に広がる鉄道直通ネットワークを駆使し、
千州をよりよく進化させていく。

STEP1 地下鉄直通を利用した涼鉄線への直通

2023年3月15日より千代丘市営地下鉄線との連絡線が開業し、市営地下鉄、涼鉄線との三社相互直通運転を開始しました。この直通線の開業と直通運転の開始により、他社線乗り換えの手間がなくなりスムーズにご利用頂くことが可能となりました。

≫ 利便性の向上で利用価値の創造へ繋げる



STEP2 永信急行電鉄の吸収合併と路線編入

2024年4月1日、千代鉄は永信急行電鉄を吸収合併し、また、同社が運行していた鉄道路線を永信線として編入しました。この合併により、永信線は千代鉄の運賃方式が適用されることとなり、利用客の増加につながりました。

≫ 運賃改定により沿線の需要増加に繋げる



現在

千代鉄の目指す姿

千州に広がる鉄道直通ネットワークを駆使し、
千州をよりよく進化させていく。

CHALLENGE 検測車両3900系による保守の効率化

2019年より、千代鉄全路線を検測する保守車両の3900系車両を8両/2編成導入しております。この3900系は線路、レール、電路関係を走行しながら測定することができ、保守業務の効率化と安全性の向上が見込まれます。

≫ 安全性の向上でお客様の信頼度を向上



CHALLENGE 沿線に魅力ある施設等を建設

2025年以降、千代鉄線の開発があまり進んでいない地域を対象に調査を実施。車での移動が多くなる区間に商業施設を新設し駐車場を用意することで利益を確保しつつ、駅前という立地を生かしP&Rを促します。

≫ 鉄道の定時運行を大きく売り出し需要創造

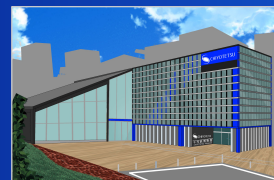


CHALLENGE 鉄道の魅力を感じられる情報の発信

2016年、千代鉄の歴史を皆さんにお伝えする「千代鉄博物館」がオープンしました。

ご利用いただく皆様に興味を持ってもらうこと、行ってみたいを生み出す事こそが、需要を生み出す一歩として重要です。

≫ 「行ってみたい」を引き出す施策を実行



To the next 100 years

OUR VISION -Beyond2030

2

長期経営計画「Beyond2030」

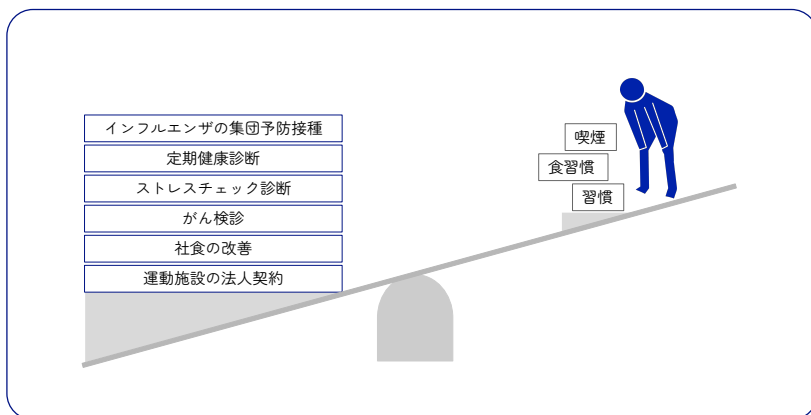
人材価値創造と健康経営

千代鉄の健康経営

2023年に制定された7か年に及ぶ長期経営計画「Beyond2030」。

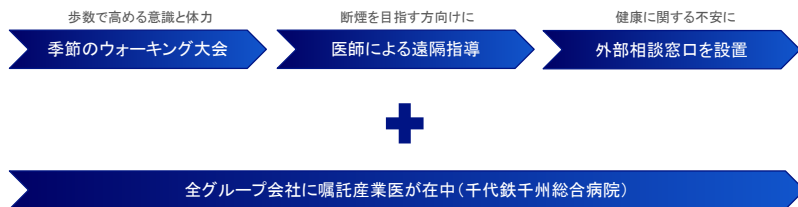
VISIONIに記された姿を達成するためにはそれを実行する従業員の皆様が不可欠です。

人口減少や少子化が進む今、従業員一人ひとりが会社の大切な資産であるとして千代鉄グループでは、様々な取り組みを行ってまいります。



予防接種や健康診断、検診、社食の改善、運動施設契約などは以前より提供しておりましたが、根本的な改善のためには個人の習慣の是正が必要となります。

健康経営の一環として千代鉄グループでは下記のような取り組みを実施してまいります。



CHIYOTETSU Group Topics

千代丘鉄道株式会社

創立110周年に向けて70型電車の改修に着手



千代丘鉄道では、2026年に創立110周年を迎えることを踏まえ、千代丘鉄道基盤、当グループが歩んだ歴史とともに歩んだ旧型車両の70型車両（71号）を大規模修繕することを発表しました。

現在は千代鉄博物館にて屋内展示されている71号ですが、今後は専門家の診断と車両部による整備の元、同車の庫内での走行等のイベントを計画しています。

千代鉄ホテルマネジメント株式会社

「千代鉄INN」ロゴマークを刷新



千代鉄ホテルマネジメントでは、ブランド価値の創造とさらなる知名度向上を図るため、「千代鉄INN」の新たなブランドロゴマークを発表しました。

新たなロゴマークは、千代鉄の宿泊特化型シティホテルであることを表すため、「INN」の文字を図案化し、ブランドカラーのブルー、ネイビーブルーで構成されています。

千代鉄ホールディングス株式会社

創立110周年に向けてホームページデザインを刷新



千代鉄グループでは、2026年に創立110周年を迎えることを踏まえ、コーポレートサイトのデザインを大幅に刷新しました。

当社、及び当グループは福岡県内の大動脈として、また、千州神宮までの主要な観光ルートの一つとして、通勤・観光など、様々なシーンで利用しやすいウェブサイトの提供を目指しております。

今回の更新ではより見やすく、よりの確な情報提供ができることを目指し、情報の整理を拡充。また、ニュースリリースのページをグループ全社掲載へ変更し時系列で記載するなど、より効率的なサイト体験を提供できるようにいたしました。

千代鉄グループホームページ

<https://www.chiyotetsu.com>



And more...